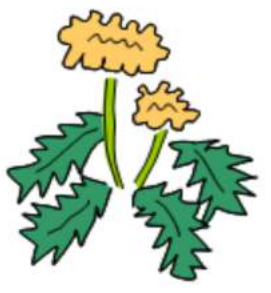




NO.441  
 R6年5月1日  
 発行  
 〒869-1217  
 熊本県菊池郡  
 大津町森54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
**三気の里**  
 ☎096-293-8100



プロレス観戦はドリームなのか

理事長 松田 健



した。再開し、声なし応援となり、今では声を出して応援してもいいとなっています。

プロレスが大好きなAさんから

私はプロレスが大好きです。読書や映画鑑賞が趣味だと表向きでは言っているのですが、本当はプロレスが小さい頃から現在まで一貫して一番好きです。昔だと新日派か全日本派かと聞かれました。アントニオ猪木派かジャイアント馬場派かというところで。ここまでの話でもう分からない方がいると思います。昭和の話です。

「行きますか」とコロナ禍に何度言われたことでしょうか。そして「コロナが良くなったら行きましょう」と何度答えてきたか。段々苦しくなってきました。罪悪感にとらわれました。

まだ流行が大きくおさまっていない、5類になる前、熊本での興業がありました。利用者の方の観戦はまだまだめた方がいいと思っていた時期でした。自分たちだけ観に行きました。

同じ種別の他施設の職員の方と会いました。利用者の方と一緒にした。しかも、2名の方を引率していました。話を聞くと利用者の方が熱烈なファンであることとそのスタッフも同じで自分が楽しむのだからと聞いていました。

利用者の方でプロレスが好きなAさんがいます。サービス等利用計画書にも書いてあります。ニーズの欄に「プロレスを観に行きたい」と。付き添ったことが2回あります。とても喜んでくれました。「また行きましょう」のあとがコロナでした。一時期プロレスの興行がなくなりま

私は恥ずかしくなりました。自分だけ観に来て。利用者Aさんに申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

昨年12月熊本のグランメッセで新日本プロレスの大会がありました。タッグリーグの決勝戦がマッチメイクされていきました。熊本で大きな大会がある。血沸き肉躍る、そんな気持ちでした。利用者の方の引率はプロレス好きの職員がしてくれました。利用者さんはとても喜んでくれました。大満足の一日でした。

ドリームを夢とすると、担当している地域の方(22歳がハリウッドへ行きたいという夢を持っています。無理だと言ったならそれで終わりますが、その方は3年でアメリカへ行くための目標金額の半分を貯蓄されました。もう誰も無理だと言わなくなりしました。利用者さんのドリームは何でしょうか。

「猪木が笑えば、世界が笑う。」

「利用者が笑えば世界が笑う。」

「元気があれば何でもできる。」

「三気(のん気こん気げん気)があれば何でもできる。」

ホープを希望とするといっぱいあ

「猪木が笑えば、世界が笑う。」  
 「利用者が笑えば世界が笑う。」  
 「元気があれば何でもできる。」  
 「三気(のん気こん気げん気)があれば何でもできる。」

ると思います。コンビ二、買い物外に出がしたい。〇〇が食べたい。ウィッシュは、願う、望むです。少し強い気持ちが入っていると思います。定期的な帰宅をして親と過ごしたいなどが該当するでしょうか。デマンドとは何でしょうか。皆さんには嫌いな物はありませんか。どうしてもそれだけは食べることが出来ない物を口に入れられたら私は食べたくないということを強く求めると思います。怒りにもつながる強い思いがデマンドだと思います。プロレス観戦をドリームには出来ない。ホープやウィッシュなのだ。すぐに実現できることだからです。10年も20年も実現できないことを計画案に書いてはダメなのだ。深く反省しています。





# 5月



## 「一年経って」

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類になって、約一年が経とうとしています。世間一般ではマスク着用は個人の自由になっていますが、私達支援員が利用者さんと一緒に通院に出かけると、『病院内はマスクをして下さい』という貼り紙を見かけます。新しい生活様式になり、5類に引き下げになっても、コロナウイルスやその他の感染症の影響に私達は左右されているのだと感じています。利用者のKさんはこの5年、特にコロナの影響に左右された方です。自宅への帰省の有無だけでなく、帰省ができたとしてもその期間が短くなったり、過ごす場所が変わってしまう等、Kさん本人にとっては目まぐるしい変化があった期間でした。未だにコロナによる影響で様々なところにしわ寄せがっていますが、今回の自宅への帰省が久しぶりに2泊3日になることになりました。コロナ前と同様の帰省期間になることで、Kさんの本当の意味での骨休めができるようにと願うばかりです。

主任支援員 小城 崇

## 新年度

春は、別れと新しい出会いの季節です。不安や期待を抱いて迎えることと思います。私が以前所属していた5班は通所とグループホームの利用者さんがメインの部署でしたが、2班は入所者がメインの部署です。利用者の方との関わり方や作業の進め方も異なるので一から学んでいます。

三気の里も4月1日の新任式を経て、スタッフや担当スタッフの紹介があり新年度がスタートしました。利用者の方の様子を見ていると身を乗り出して新人スタッフの顔を確認される方、班での担当スタッフ発表の際にソワソワされる方と、まさに新学期の始まりのような光景でした。2班には私も含め3人の新しいスタッフが配置になり、「よろしくお願ひします」とお互い新たな気持ちで挨拶をしました。今年も利用者さんと笑顔で共にみんなで楽しく頑張っていけるようにしたいと思います。

生活支援員 中村 圭助



幸せの黄色いレシート還付金贈呈式  
4月28日イオン大津店





### 「やってみよう」

三気の里に入社して、早5年が経ち、6年目に突入しました。入社当初は初めてのことばかりでしたが「とりあえずやってみよう」という気持ちで、先輩に教えていただいた業務に取り組み、何度も失敗をしながらも少しずつ生活支援員という仕事を理解してきました。新年度となり、新しい三班がスタートしています。新たに三名の利用者さんの担当となりました。前担当から本人の様子やこれまでの取り組み、強みや苦手なこと、御家族のことなどを引き継ぎ、担当が始まります。ここ数年コロナウイルスによって制限された日常から、通常に戻って行きます。「とりあえずやってみよう. . .。」

私は6年目に突入です。主任です。「とりあえず」ではなく、担当、班の利用者さんのために「責任をもってやってみよう！」

主任支援員 友尻 陽也

### カラオケ

4班では毎週金曜日にクラブ活動を行なっています。カラオケ、ゴールドクラブ(高齢化対策としての体操)、ゲーム大会等あるのですが、カラオケが一番の人気です。Sさんは、嵐の「Happiness」や秋川雅史の「千の風になって」が十八番で、4班の流行曲を作り出されます。また、「Happiness」を歌われる際は、オリジナルダンスを披露し、場を盛り上げて下さいます。Kさんは、歌を歌うのも上手ですが、「OOさん上手ね〜！」と盛り上げるのも上手く、彼がいることで他の皆さんがより楽しまれています。

Tさんは、松田聖子の「赤いスイートピー」や石川さゆりの「津軽海峡冬景色」といった昔懐かしい曲を歌われ、4班の歌姫です。これからも、音楽の力を借りながら、楽しい時間を過ごせたらと思います。

生活支援員 船津 朋世



←BeTREE  
マルシェ

避難訓練

→



### 「美味しいが増えていくように」

今年度初の給料外出はAmeYaカフェで4種類のケーキパフェから好きなものを選んでもらい、みんなで食べました。これまでに5班では何度も利用して、利用者の方もなじみのパフェですが、皆さん毎回楽しみな様子で、選ぶときに吟味される方、いつもの好みの安定な味を選ばれる方など様々な反応が見られます。

今回の給料外出では誕生日を翌日に控えたHさんの為にみんなでハッピーバースデーを歌いました。Hさんもノリノリで手拍子交じりの笑顔で歌を聴いていました。いざ食べ始めると皆さんおいしそうに食べられ、「美味しい！」との声も聞くことができ、今年度も様々なところで利用者さんの美味しいが増えるように給料外出に出かけていこうと思います！

主任支援員 石原 佳奈



# 療育雑記

「関係性」

課長補佐 森田 康之

主に4月始まりを基本とする日本の春は教育機関をはじめ様々な業種の方々にとって特に大事な時期だと思えます。当法人も例外なく人事異動に担当変更と大きな変化をもたらす季節です。

新しく担当を持ったたり、配属が変わったりと要所で挨拶をする場面があります。そこで耳にするのは「利用者の皆さんと良い関係を築いていきたいと思えます。宜しくお願いします。」との言葉。その「良い関係」ってひとことで表すとなんですか？発言された方が言わんとするとは何となく分かりますが「良い関係」ってどこか抽象的で分かりにくいと思いませんか。ずっとモヤモヤしていました。

「（利用者さんと）会話できるようになること」語彙力の無い私なりに出た答えです。

心理学に「ラポール（信頼関係）」という用語があります。

意味は「相手との間に築かれる信頼関係」。先程の「良い関係」の答えがきつとこれだと思えます。しかしながら、もう少し掘り下げてみます。実際のところ、

ラポールというフランス語の特有的な音の響きと端的な意味しか知らなかったので少し調べてみました。ラポールとは「橋をかける」という意味のフランス語が語源となることから、相手と心が通じ合っている状態を表します。ラポールの形成とは、お互いの気持ちを通じ合う状態を言います。一般的にラポールを形成することで①お互いのことをよく理解できるようになるため、不信感が取り除かれる。②この人なら大丈夫」といった信頼感が向上する。③お互いの感情や思考を伝えやすくなるため、より円滑なコミュニケーションを図ることが可能になる。④必要最低限のコミュニケーションで業務を進めることができるため、無駄を省き、組織の生産性を向上させる。等々、様々なメリットがあります。この考え、捉え方を支援現場に落とし込んだ時に一般的な解釈では、やや

飲み込みにくい部分があります。相互でのやりとりに困難さがあることがそう感じる要因のひとつだと考えています。

ひとつ例を上げます。中堅、ベテラン職員あるのですが、4月から5月にかけて「Aさんの言われる〇〇ってどういう意味ですか？」や「Bさんの示されるサインが分かりません」など利用者さんの表現に戸惑う若手職員から「通訳役」を求められることがあります。質問に対して、対象者の仕草や表情、近々の体調、状況、筆談、スマホなどの媒体を使用して、可能な限り伝えたい事柄を推測します。事象の流れに沿った答えを職員に説明するように努めています。導き出した返答を基に利用者AさんやBさんとのやりとりの続きを行い、その反応をみて伝えなかった事柄を正しく受け止めることができたかの確認をします。一朝一夕で身に付く技術ではないですし、質問に答える側の私も正しい解釈ができていたか、考えさせられる一コマです。このように信頼関係を築く前段階で様々な難しさが支援現場

には溢れています。これらをとを踏まえて現場レベルで「良い関係」をひとことで表すと、冒頭に述べさせて頂いた「（利用者さんと）会話できるようになること」。

（利用者さんが表現する）一般的な解釈では汲み取ることが難しいメッセージを受け止めて、分析して、適したリアクションをする。「適した」を維持しつつ、その精度を上げていく中で「良い関係」が築けるのではないのでしょうか。そうすることで当たり障りのない「会話」も徐々に深みが増していくと考えています。

今年度、人権擁護委員会が掲げたテーマが「利用者さんを知る」です。利用者さんの現在だけに着目するのではなく、過去の事柄を理解することが本当の意味で利用者さんを知ること、会話することに繋がると思えます。利用者さんの人生の「点」を「線」で結ぶことで「良い関係」を築く為のきっかけになると考えます。自分自身学びを深め、後輩職員へ伝えていきたいと思えます。



# の工便り

4月になり、春らしい暖かさを感じる間もなく、一気に夏のような暑さの日も見られるようになりました。大慌てで、分厚い上着を片付け薄手の衣服と交換です。タンズ(クローゼット)の中は今、時期的に長袖と半袖が混在している状況です。しかし、利用者さんの中には、「衣替え＝総入れ替え」にしたい方もおられ、スッキリしないようです。そのような方には、半袖だけでは寒い時に風邪をひいてしまうので、長袖や薄手の上着が必要であることを説明し、片付ける日を具体的に伝えることで理解してもらっています。

着ている服の調節も、人それぞれ寒がり、暑がりと感じ方が違います。それは、利用者さんもスタッフも同じで、スタッフの感じ方だけで衣服の調節の促しをすると利用者さんを混乱させてしまいます。まずは、その利用者さんが暑がりなのか、寒がりなのかの体質を知ること、体温や汗のかき方を見ること、周囲のスタッフに確認することにより判断しています。季節の変わり目なので、気温や体調に

は気を付けて、元気で楽しいことが沢山出来るようにしたいものです。

副主任 藤本 優香



# 自治会

桜の花が咲き誇り、新しい年度の訪れを感じる季節となりました。皆様も、新しい事への挑戦、新しい年度を迎える為に色々と忙しい事だと思えます。さて、私は昨年度に引き続き、自治会を取りまとめる役割をいただきました。昨年度は初めての役割でしたので、わからないことが多く、出遅れたり、ギリギリになっってしまったりしていました。「今年度こそはしっかりとやるぞー」と、思う今日この頃です。

自治会の利用者さんは、やはり三気の里を想う気持ちが強いです。利用者のAさんは施設の事や利用者さんの待遇など、様々な事を教えてくれたり、提案してくれたりします。私の役目は、

そんなAさんの想いをスタッフに繋げる事、繋がる事だと思っています。今年度こそは、成果を上げられるよう、精進せねばと思っています。

生活支援員 早瀬 寛

## これまでの自治会活動



# 部長便り

三気の里のある大津町は、隣接の菊陽町を中心とした半導体バブルの影響と、昨今の世の中の情勢を受け、人口増加、地価上昇、物価高騰が目まぐるしい状況です。時給3000円の求人が出たり、引っ越しを考えても空きがなく、家賃は熊本市内と変わらない、もしくは市内以上の値段だったり、居酒屋の宴会プランは安くても4500円(10年前は3000円)になったりと色々なことがあっていきます。最近特に感じるのは、通院の問題です。入所の方の平均年齢は52歳を超え、高齢化、重症化、重度化が進み、通院先、通院の数が年々増加しており、通院で公用車が足りないことも多々あります。通院しても受診する人が多く、1時間以上待たなければならぬことも増えてきました。人口に対して病院の数が釣り合っていないことが要因ではと推測します。バブルにより恩恵をたくさん受けたので、問題もたくさんあると思うので、先を見越して、ナウでヤングな気持ちで、元氣印でしゃかりきに対応できるように努めていきたいと思っています。 松本 慎太郎



# 5月スケジュール

05/03 (金) BeTREEマルシェ  
 05/07 (火) 芸術クラブ  
 05/11 (土) 話し合いの部屋  
 チャリティーボーリング大会  
 05/16 (木) 嘱託医来診  
 05/17 (金) アンパの日・ゴールドクラブ  
 05/25 (土) イベント食・自治会活動  
 05/26 (日) 陣内食堂

5/31 (金) 産業医職場巡視

毎週月曜日 訪問理容サービス  
 毎週火曜日 BeTREE役場販売

BeTREE  
 <営業時間>9:30~17:30



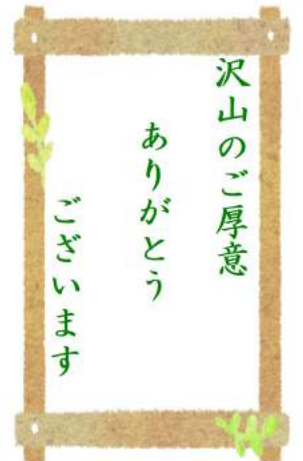
betree314

石谷雅彦様 宮本眞一様  
 荒牧貴子様 興呂木克昭様  
 荻迫和也様 井上ちえ子様  
 井手上昌子様 財津睦人様  
 大津岩下薬局 岩下知生様  
 熊本歯科衛生士専門学校様  
 刃のフレッシュ今村義頼様  
 (有)西日本防災システム様

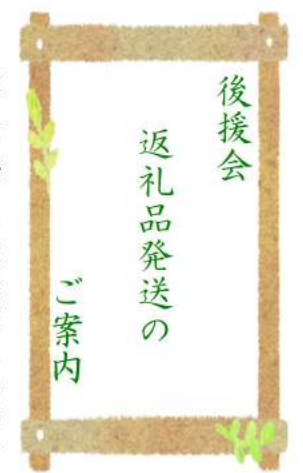
熊本県予防医学協会様  
 (有)規工川工務店様  
 ヤマト住建様  
 宇都宮建設様  
 松田自動車様  
 八代学園様  
 【後援会】

井手上 昌子様  
 甲斐 賢二様 小牧 博則様  
 牛島 智子様 田中 智子様  
 柴田 博子様 赤星 央子様  
 【寄付物品】

【寄付】  
 有馬 幸雄様



赤星 央子様  
 前淵 隆子様 (ブラッシング)  
 【ボランティア】  
 山下さつき様  
 前田美也子様 細野テツ子様  
 山田美貴子様 柚留木勝久様  
 榎本貴美子様 横手聡様  
 山崎日出男様 坂田實様  
 清藤節子様 金森保様  
 園田真也様 櫻木勇夫様  
 中原喜徳様 赤星 一郎様  
 山室誠弥様 田中慶秀様  
 中嶋久枝様 甲斐美幸様  
 伊野憲治様 岡本史郎様  
 白井桂子様 森岡良子様  
 松木伴良様 古川昌美様  
 財賀由子様 藤井法仁様  
 坂井省英様 中村芳久様  
 荒川信子様 島津健二様  
 荻原久雄様 伏貫直美様  
 柴田精三様 江越和信様



法人並びに後援会への寄付  
 のご協力心より感謝申し上げます。  
 今年度の返礼品(年総額  
 万円以上)は都合上、6月上  
 旬より順次発送させて頂きま  
 す。ご了承下さい。



## 編集後記

5月のイメージカラーは  
 「新緑」とのこと。本来なら、  
 梅雨入りの清々しい風に心躍  
 るような爽やかな時期です。  
 近年は事情が違つようです。  
 半袖スタッフの出現も年々、早  
 くなっています。(旭志村の虫  
 を追い越しました。)

森田